

アーツカウンシル東京 2025年度 事業ラインアップ発表

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、このたび、2025年度の事業ラインアップを決定しましたのでお知らせします。

<2025年度の主な取組>

■世界陸上・デフリンピック開催を契機に、芸術文化へのアクセシビリティ向上を促進

世界陸上やデフリンピックの開催時期に合わせて展開する、「多様な参加者をつどい・つながり・つくりあげる」アートプロジェクト「TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム」では、都内各地の祭り団体や伝統芸能団体によるパフォーマンスイベント「TOKYO わっしょい」、ろう者と聴者が遭遇する舞台作品「黙るな 動け 呼吸しろ」を実施します。また、芸術文化事業を実施する団体等によるアクセシビリティ向上の取組を支援する「東京芸術文化鑑賞サポート助成」について、両大会が開催される秋に鑑賞サポートの取組が推進されるための枠を新設するなど拡充するとともに、「芸術文化へのアクセシビリティ向上」の機運醸成に向けたキャンペーンを展開し、誰もが芸術文化を楽しめるよう環境整備を促進していきます。

■次代を担うキッズ・ユース向け体験事業の拡充

子供たちが自らの興味関心がある芸術文化について、より深くより高いレベルで学ぶことができる「ネクスト・クリエイション・プログラム」を2024年度より開始しました。2025年度は「キッズユースオープンキャンパス」、「こどもファッションプロジェクト」に加え、新規事業として「ビジュアルアーツ クリエイションプログラム（仮称）」、「こども映画プロジェクト（仮称）」に取り組みます。

■活動支援と人材育成の充実

若手アーティストの創作活動を支援する「START Box」では、「START Box ササハタハツ」、「START Box お台場」に加え新たなアトリエや稽古場など、創作スペースの新規提供を予定しています。「東京芸術文化創造発信助成」では、カテゴリⅣ[長期助成]海外映画祭参加活動を新設します。

事業の詳細は、別添の事業一覧をご覧ください。

1. 横断的取組の推進:「TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト」「シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]」「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」
2. 芸術文化の支援:「助成」「活動支援」「人材育成」
3. 芸術文化の魅力創出・発信:「芸術文化の創造・発信」「芸術文化の参加・体験機会の創出」「地域連携の推進」
4. ネットワークの形成

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

※これらの情報は2025年3月31日現在のものであり、内容は変更になる場合があります。

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部広報課 担当:工藤、堀岡
TEL:03-6256-8432 E-mail:press@artscouncil-tokyo.jp

2025 年度 アーツカウンシル東京 事業ラインアップ

1 横断的取組の推進

公益財団法人東京都歴史文化財団全体を視野に入れた、デジタルテクノロジーの活用による先端的な取組の実施等を通じ、誰もが芸術文化を享受できる社会の実現を目指します。

TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

都立文化施設における情報通信基盤整備や、データベース拡充等による収蔵品の利活用、デジタルを活用したプログラムの企画開発、最先端技術を活用した新しい鑑賞体験の創出などを一体的に推進し、「誰もが、いつでも、どこでも、芸術文化を楽しめる環境」を創出していきます。

事業名	実施場所
デジタルアーカイブの充実	オンライン、都立文化施設等
6つの都立ミュージアム（東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都美術館、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館）の収蔵資料をオンライン上で公開するためのシステム構築と資料公開の拡充を促進。これらの収蔵する資料・作品を、横断的に検索できるデータベース「Tokyo Museum Collection (ToMuCo) ー東京都立博物館・美術館収蔵品検索」を運営。このほか収蔵資料・貴重資料のデジタル化、3Dデータの公開を実施します。	
ICT活用新規プログラムの開発	オンライン、東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京文化会館
情報環境整備とデジタルアーカイブの構築を踏まえ、ICTを積極的に活用した新規プログラムの企画開発を行います。東京都江戸東京博物館スマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」や江戸東京たてもの園Webアプリ「たてもの園ナビ」を応用した教育コンテンツの開発、東京文化会館における映像技術等を活用した音楽鑑賞サポートの公開等、新たな鑑賞体験を提供します。	

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

アートとデジタルテクノロジーを通じて、人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための活動拠点。ラボ・スタジオ等のスペースを備え、ワークショップなどのさまざまなプログラムを通じて、東京からイノベーションを生み出す原動力となることを目指します。

実施場所
シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]
「Co-Creative Transformation of Tokyo(CX)〜クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市（まち）に変える〜」を掲げ、5つのコアプログラム「アートインキュベーション」「ショーケース」「ワークショップ」「キャンプ」「ミートアップ」を通して人々の創造性を触発するとともに、国内外の分野を超えた多様なパートナーと連携し事業を展開していきます。

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

都立文化施設や文化事業を通して、誰もが芸術文化にアクセスし、楽しめる環境の構築を目指します。高齢者、障害のある方、乳幼児、海外にルーツをもつ人等、さまざまな人たちが文化事業に参加し、共に創造していくための環境整備の拡充とともに、プログラムの検証やモデル開発、現場での実践や調査に取り組みます。都立文化施設や文化事業、地域の社会的課題と関わる NPO 等と連携し、これからの芸術文化に必要な取組を推進し、発信していきます。

事業名	実施場所
クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー	文化施設等、都内各所
文化施設や文化事業の情報保障ツールやサポートの先進的かつ質を高める取組を展開するとともに、アクセシビリティに関わる調査・検証・開発を「パートナープログラム」として実施します。また、芸術文化による共生社会の実現に向けた取組を発信するとともに、国際会議で得た知見や、先進的な取組を国内外に広めるため、だれもが文化でつながる国内会議を開催します。	
TURN LAND プログラム	都内各所
福祉施設や社会的支援を行う団体がアーティストと共にアートプロジェクトを企画・実践するプログラム。プロジェクトの実践を通して多様な価値観や特性への理解を深め、より魅力的な活動を日常の中に生み出せるよう「TURN LAND」と「プレ LAND」の2つを展開。実施プロセスにはコーディネーターが伴走し、現場の状況に応じて運営をサポートします。地域との新しい関係性を構築することや、プロジェクトによる気づきを内外に伝え共有することを目指します。	
芸術文化へのアクセシビリティ向上	都立文化施設、都内各所
都立文化施設等やアーツカウンシル東京で展開する文化事業等におけるアクセシビリティ向上に取り組み、誰もが芸術文化にアクセスしやすい環境を整備します。文化施設や文化事業に来館・参加するまでの情報提供やサービスの向上、公演・展覧会・プログラムの鑑賞・参加体験を豊かにするための取組の促進、障害当事者等多様な方の企画や運営への参画のための環境整備を推進します。また、アートと文化の担い手に向けた研修や助成等も展開します。	
そして、世界陸上・デフリンピックが開催される秋を中心に「芸術文化へのアクセシビリティ向上」の機運醸成に向けたキャンペーンを展開し、都内の鑑賞サポート付展覧会・公演等を広く情報発信していきます。	

2 芸術文化の支援

助成をはじめ、相談窓口・講座など多様なプログラムを通して、アーティストの創造活動を支援するとともに、芸術文化の担い手の育成に取り組みます。

助成

東京の芸術文化の魅力を上向きさせ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市のさまざまな課題に取り組む芸術活動等を支援するため、それぞれの目的に応じた助成プログラムを実施しています。

事業名	実施場所	対象期間（予定）
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅠ [単年助成] 芸術創造活動	都内 又は海外	第1期：2025年7月1日～2026年6月30日 第2期：2026年1月1日～2026年12月31日
東京の都市としての魅力の向上に寄与する多様な創作活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術家や芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。「カテゴリーⅠ [単年助成]」では、都内において実施される上演、コンサート、展示、上映、アートプロジェクトその他の創造活動や、都内又は海外で実施される国際的な芸術交流活動を支援します。		
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅡ [長期助成] 芸術創造活動	都内 又は海外	(2年間) 2026年1月1日～2027年12月31日 (3年間) 2026年1月1日～2028年12月31日
東京の都市としての魅力の向上に寄与する多様な創作活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。「カテゴリーⅡ [長期助成]」では、発表活動だけでなく、リサーチや試演など作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進するとともに、芸術団体のステップアップの後押しを目的に、2年間又は3年間の支援を行います。		
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅢ [長期助成] [単年助成] 創造環境向上活動	都内 又は海外	[長期助成] (2年間) 2026年1月1日～2027年12月31日 (3年間) 2026年1月1日～2028年12月31日 [単年助成] 第1期：2025年7月1日～2026年6月30日 第2期：2026年1月1日～2026年12月31日
東京の都市としての魅力の向上に寄与する多様な創作活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。「カテゴリーⅢ [長期助成] [単年助成]」では、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対して、最長3年間の支援を行います。		
2025年度新設		
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅣ [長期助成] 海外映画祭参加活動	都内 又は海外	(2年間) 2026年1月1日～2027年12月31日 (3年間) 2026年1月1日～2028年12月31日
東京の都市としての魅力の向上に寄与する多様な創作活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする個人（映画監督やプロデューサー等）や芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。「カテゴリーⅣ [長期助成]」では、映画のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す事業に対して、2年間又は3年間の支援を行います。		

事業名	実施場所	対象期間（予定）
芸術文化による社会支援助成	都内 又は海外	第1期：2025年7月1日～2026年6月30日 第2期：2026年1月1日～2026年12月31日
東京を拠点とする芸術団体や中間支援団体、福祉団体、NPO等を対象とし、さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市のさまざまな課題に取り組む活動を支援します。2025年度は子供の芸術鑑賞や体験機会の格差解消に取り組む事業を重点的に支援します。		
地域芸術文化活動応援助成	都内	第1期：2025年4月1日～2026年3月31日 第2期：2025年10月1日～2026年9月30日
地域の芸術文化に誰もが触れ、参加できるような環境づくり、芸術文化を通じた地域の活性化や地域振興を目的として、都内の各地域の特色ある文化の醸成・発展を促進する芸術文化活動や、各地域の文化財や文化資源を未来に向けて継承し、その魅力を地域内外に広く発信する取組を支援します。		
スタートアップ助成	都内 又は海外	第1回：2025年9月1日～2026年8月31日 第2回：2026年1月1日～2026年12月31日 第3回：2026年5月1日～2027年4月30日
東京の芸術シーンで活動を展開していこうとする新進の芸術家や芸術団体等がチャレンジする新たな芸術創造活動を支援します。都内又は海外で実施される公演、展示、アートプロジェクト、国際フェスティバルへの参加、国際コラボレーション等を対象とし、若い才能が今後の芸術活動への地歩を築くためのスタートアップを後押しします。		
伝統芸能体験活動助成	都内	2025年9月1日～2026年8月31日
伝統芸能のさまざまな種目について、初めての人でも入り易く、ひとりの参加者が同一の種目の実技を複数回にわたって自ら実技体験することができる事業を支援します。伝統芸能の面白さを体感する機会を提供し、伝統芸能が暮らしの中に根付き日常にお稽古に通う人の拡充へとつなげることで、伝統芸能の振興を図ることを目的とします。		
芸術文化魅力創出助成	都内	第1期：2025年7月16日～2026年7月15日 第2期：2025年12月16日～2026年12月15日
東京都内において実施される、多くの団体や参加者が共に作り上げるさまざまなジャンルのフェスティバルやアートプロジェクト等の創造活動、東京の魅力として発信力・持続力のある革新的なプロジェクト等の経費の一部を助成します。		
芸術文化魅力創出助成 TOKYO CITY CANVAS 助成	都内	未定
東京都内において実施される、民間の工事現場の仮囲い等を活かし、アートによって魅力的な空間を創出し、インパクトある都市の新しい景観を生み出すアートプロジェクト等に係る経費の一部を助成します。		
ライフウィズアート助成	都内	2025年9月1日～2026年8月31日
アート作品を日常生活に根付かせ、アーティストの活動領域を広げることで、芸術文化に携わる人材を増やし、好循環を生み出す取組・基盤整備を支援するため、経費の一部を助成します。		

事業名	実施場所	対象期間（予定）
東京ライブ・ステージ応援助成	都内	未定
東京の芸術文化の多様性を支える中小の団体による舞台芸術（演劇、舞踊、音楽等）活動を対象に、芸術文化の創造・発信を支援するため、公演に係る経費の一部を助成します。		
東京芸術文化鑑賞サポート助成	都内	未定
誰もが芸術文化を楽しむことができる社会を実現するため、芸術文化事業を実施する民間団体等によるアクセシビリティ向上を目的とした取組について支援します。サポートを必要とする鑑賞者・参加者に対する鑑賞支援の取組事例を増やし、芸術文化に触れるきっかけを生み出すとともに、芸術文化へのアクセシビリティ向上の必要性について、広く社会全体に普及していくことを目指します。		

活動支援

芸術文化活動に関する相談窓口や講座事業等による総合的なサポート情報の提供、制作スペースやクリエイション、プレゼンテーションの場の提供等、活動を継続し発展させるための多角的な支援を行います。

事業名	実施場所
東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」	都内
東京都内で活動するアーティストやあらゆる芸術文化の担い手の持続的な活動を支援し、新たな活動につながるプラットフォームです。オンラインを中心に、弁護士や税理士といった専門家等と連携しながら、悩みや困りごとに対応する「相談窓口」、活動に役立つ情報を届ける「情報提供」、活動に必要な知識やスキルを提供する「スクール」の3つの機能で総合的にサポートします。	
相談窓口	
アーティストやあらゆる芸術文化の担い手が直面するさまざまな悩みや困りごとについて、芸術文化の知識・経験をもつ相談員が対応し、解決に向けてお手伝いします。相談の内容によっては、必要に応じて弁護士等の外部専門家を紹介します。2025年度はさまざまなイベントや会場へ出向き、対面で相談いただける出張相談を実施します。	
情報提供	
芸術文化活動を行ううえで生じる会計・税務、活動資金・活動場所、ハラスメントなどさまざまな悩みや困りごとの解決に役立つ情報を提供。公式ウェブサイト、YouTube、note、LINEなど、複数のメディアプラットフォームを活用して情報を一元的に発信します。	
スクール	
アーティストやあらゆる芸術文化の担い手の活動基盤の強化やネットワーキングといった活動環境の向上を目指す講座を実施。2025年度は、会計・税務やハラスメント防止、法務、ビジネススキル、キャパシティビルディングなどを実施するほか、豊富なアーカイブを有効活用し、より深掘りする講座も新設します。また、新たに都内の芸術系大学と連携して大学生に向けた出張講座を実施します。	

事業名	実施場所	実施時期（予定）
アーティストの創作環境の整備「START Box」	都内	年2回程度（公募）
<p>アトリエ等を確保することが難しい若手アーティストに利用しやすい料金で創作環境を提供することで、継続的な創作活動を支援します。2023年4月には渋谷区の水辺道路沿いにある都営住宅の空き店舗を活用した「START Box ササハタハツ」、11月にはお台場の公社住宅にある空き店舗を活用した「START Box お台場」をオープンしました。また、利用アーティストと地域住民等の交流を促進するためのオープンアトリエや文化イベントでの利用アーティストの作品発表等も実施しています。2025年度は新たなアトリエや稽古場など、創作スペースの新規提供を予定しています。</p>		
Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP)	都内	年1回（公募）
<p>アート市場での活躍を希望する美術・映像分野の若手アーティストを支援するプログラム。アーティストが自身の作品について語るプレゼンテーションに焦点をあて、作品を語る力の向上とコンセプト強化の両面からサポートします。選考を経た支援アーティストへ、自由度の高い制作支援金を支給するとともに、現代アートの多様なスペシャリストと継続的なメンタリングを実施し、その成果発表として、アーティスト自らが作品コンセプトや制作背景を国内外の現代アート関係者等へ向けて語る「プレゼンテーション・ステージ」を創出することで、東京を起点とする若手アーティストの国際的な飛躍を支援します。</p>		

人材育成

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

事業名	実施場所	実施時期（予定）
タレンツ・トーキョー2025	未定（都内）	2025年11月
<p>『ベルリン国際映画祭』と提携し、映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（=Talents、タレンツ）」を育成することを目的に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供します。映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に招き、監督、プロデューサー、ワールドセールスの各部門において世界で活躍するプロフェッショナルを講師として迎え、実施します。</p>		
アートマネジメント人材等海外派遣プログラム	未定（計5地域）	年5回程度（公募）
<p>東京が国内外のアートシーンの中心として世界を魅了する創造性を生み出し、東京に集積する芸術文化資源を最大限活用して、国際的なアートハブとしての機能強化を目指すため、将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材等を短期で芸術フェスティバルなどに派遣し、国際的な活動の第一歩となるよう、海外の芸術文化関係者とのネットワークを作る機会を提供します。また、海外の先駆的な作品や創作現場に直に触れることで、国際的な視点に立った創作の機運醸成を図ります。将来的には、東京と各派遣先との連携を深め、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化につなげます。2025年度は派遣対象分野に新たに映画部門を追加するほか、派遣先も増やし、事業を拡充します。</p>		
子供向けの芸術文化体験コーディネーター養成プログラム（仮称）	未定（都内）	未定
<p>子供たち一人ひとりの興味や関心などを引き出し、多様な子供向け事業が展開されるよう、子供向けの芸術文化体験プログラムを実施できるコーディネーターを養成します。</p>		

3 芸術文化の魅力創出・発信

芸術文化団体やアート NPO 等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

芸術文化の創造・発信

フェスティバル等の開催を通じて、東京における芸術文化の創造活動の拡充を図るとともに、鑑賞機会を広く創出します。

事業名	実施場所	開催時期（予定）
伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル 2025～	いちょうホール(八王子市) ほか	2025年7月5日(土)・6日(日)
八王子市をはじめ、多摩地域の文化資源を活用して伝統文化・芸能に馴染みのない方々も気軽に親しめるフェスティバルを開催します。いちょうホールやまちなかでの公演・体験コーナーなど、多彩なプログラムを実施します。		
東京大茶会 2025	浜離宮恩賜庭園	2025年10月4日(土)・5日(日)
	江戸東京たてもの園	2025年10月18日(土)・19日(日)
東京都内の庭園と野外博物館において、異なる茶道の流派が一堂に会する大規模な茶会を催します。趣のある会場で、茶道に馴染みのない方や外国の方など、どなたでも気軽にお楽しみいただける茶会を開催することにより、伝統ある「お茶の文化」とそれを育んできた「江戸・東京の文化」を、国内外へ広く紹介します。		
神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2025	神楽坂エリア	2025年5月17日(土)・18日(日)
伝統と現代が融合する神楽坂エリアの路上、寺社境内、能楽堂など、「まち」を舞台に、日本のさまざまな伝統芸能を誰もが気軽に楽しめるフェスティバルを開催します。		
六本木アートナイト 2025	六本木エリア	2025年秋
さまざまな文化施設や商業施設が集積する六本木のまちを舞台に、アート作品、音楽、映像、パフォーマンスなどの作品を点在させ、非日常的な体験を創出するアートの饗宴。多様なプログラムを展開します。		
Shibuya StreetDance Week 2025	代々木公園	2025年11月22日(土)
ストリートダンサーの聖地と言われる渋谷から、ストリートダンスの魅力や本質的な価値をさまざまな形で発信し、子供から大人まで幅広い層の方々が参加できるストリートダンスの祭典を開催します。		

事業名	実施場所	開催時期（予定）
TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム ろう者と聴者が遭遇する舞台作品 「黙るな 動け 呼吸しろ」	東京文化会館 大ホール	2025年11月29日（土）
世界陸上・デフリンピックに向けたアートプロジェクトとして、「ろう者とろう文化に対する社会的認知」と「ろう者と聴者が互いに共通理解を図ること」を目的にした舞台を創作します。言葉や文化が異なる両者が創作の場で遭遇し、日本手話と日本語によるオリジナルストーリーで上演する世界初演の作品です。		
TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム 「TOKYO わっしょい」	行幸通り（東京都千代田区丸の内）	2025年9月12日（金）～14日（日）
東京の「まつり」が大集合し、伝統的な祭りや地域振興としての祭り、伝統芸能等の見どころを凝縮したパフォーマンスを披露します。その場で参加可能なプログラムは、演者と参加者が同じ時空間を共有し、祭りの楽しさを体験いただけます。		

芸術文化の参加・体験機会の創出

次世代の担い手となる子供・青少年に向けてプロフェッショナルのもとでの創造体験機会を提供し、子供たちの豊かな感性を育みながら、芸術文化を継承していきます。

事業名	実施場所	開催時期（予定）
キッズ伝統芸能体験	芸能花伝舎、梅若能楽学院会館、国立能楽堂、浅草公会堂 ほか	2025年9月～2026年3月
伝統芸能のプロの実演家が数か月にわたり子供たちを直接、定期的かつ継続的に指導し、最後にその成果を本格的な舞台上で発表します。伝統芸能の「お稽古」という形を通して、日本人が古くから大切にしてきた心や感性、礼儀作法などの文化環境を学ぶ機会を提供し、伝統芸能を次世代へ継承すると同時に、東京の文化的魅力を向上させることを目的として実施します。		
子供のための伝統文化・芸能体験事業	都内の小・中、高等学校、特別支援学校 ほか	2025年5月～2026年2月
次世代を担う子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、体験することで、日本文化の価値に対する理解を深め、多様な文化に対する幅広い知識を育んでもらうことを目的として、プロの実演家や職人を講師とする体験・鑑賞事業を学校教育と連携して実施します。		
パフォーマンスキッズ・トーキョー	都内文化施設、都内の小・中学校 ほか	通年
ダンスや演劇、音楽などのプロのアーティストを、学校やホール、児童養護施設等に10日間程度派遣し、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品を作り上げ、最終日に発表公演を行います。アーティストが子供の発想を活かしつつ作品を創作する過程で、子供たちの創造性や自主性を育み、コミュニケーション能力を高めます。		

事業名	実施場所	開催時期（予定）
ネクスト・クリエイション・プログラム	未定（都内）	未定

子供たちが、自らの興味関心がある芸術文化について、クリエイションの現場に入り、第一線で活躍するプロフェッショナルから指導が受けられる良質なプログラムを提供し、子供たちの個性に寄り添いながら豊かな才能の開花を後押しすることを目指します。

キッズユースオープンキャンパス

芸術系大学の教授などが講師となり、大学のアトリエや工房、音楽ホール等を使って、子供たちが美術や音楽、演劇など、さまざまなジャンルでのものづくりや生演奏に触れ、作る・表現する・思考する楽しさを実感できるプログラムを区部と多摩部でそれぞれ実施します。

こどもファッションプロジェクト

身近なファッションや洋服を題材に、各分野の第一線で活躍するプロの指導のもと、子供たちが洋服の制作やモデル、撮影などの役割に分かれて、楽しみながらファッションの世界を体験するプログラムを実施します。

ビジュアルアーツ クリエイションプログラム（仮称）

教育機関等と連携し、子供たちがアート作品制作を通じて、社会課題についても学びを深め、制作した作品を多くの人に鑑賞してもらえる形で発表することで、行動変容を引き起こすようなプログラムを実施します。

こども映画プロジェクト（仮称）

子供たちが、映画を「観る」ことから始め、映画監督やスタッフと共に、撮影、編集などの制作に取り組み、完成作品を上映するまでの映画制作体験プログラムを実施します。

地域連携の推進

地域社会を担う NPO や区市町村等との多様な連携から、地域での文化創造拠点の形成や、さまざまな社会課題に対応し、身近な場所で芸術文化活動に参加する機会を増やします。また、事業の担い手となる人材の育成等の環境整備も行います。

事業名	実施場所	開催時期
東京アートポイント計画	都内各所	通年
<p>地域社会を担う NPO とアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取組です。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となる NPO の育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。</p> <p>【拠点形成事業】</p>		
事業名	実施場所	
ACKT (アクト/アートセンタークニタチ)	国立市 ほか	
<p>行政と市民、市内外の人々が交流し、新たなまちの価値を生み出していくプロジェクト。拠点づくりやまちなかプログラムを通じて、国立市や多摩地域にある潜在的な社会課題にアプローチします。</p>		
多摩の未来の地勢図 Cleaving Art Meeting	多摩地域	
<p>多摩地域の文化的、歴史的特性をふまえ、その「地勢」を探ることから、一人ひとりが自らの暮らしを見つめ直すプロジェクト。アーティスト等を媒介に学校と地域を地続きに捉える試みや「ケア」にまつわるワークショップや対話の場づくりを通じて今日的な社会課題に向き合うコミュニティづくりを進めます。</p>		
カロクリサイクル	江東区 ほか	
<p>被災を経験した土地に蓄積されてきた記録物(禍録)から、地域の歴史を掘り起こし、それらに向き合う人々とともにワークショップや展示を通じて表現を行う場をつくることから災間期をともに生きるためのネットワークの形成を目指します。</p>		
KINO ミーティング	都内各所	
<p>海外に(も)ルーツをもつ人々と共に、都内のさまざまなエリアで映像制作を中心としたワークショップを行うプロジェクト。背景の異なる人々との出会いや対話を中心とした映像制作を通して、東京の「まち」や自身や他者への「ルーツ」について新たな視点を獲得する機会を作り出します。</p>		
めとてラボ	台東区 ほか	
<p>視覚言語(日本の手話)で話する者・難聴者・CODA(ろう者の親をもつ聴者)が主体となり、異なる身体性や感覚世界をもつ人々と共に、自らの感覚や言語を起点にしてコミュニケーションを創発する場を作ります。</p>		
アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「キタ!千住の1010人」	足立区	
<p>区市町村連携のモデル事業として、千住のまちなかを舞台に、1010人で奏でる参加型コンサート、アートアクセスあだち 音まち千住の縁「キタ!千住の1010人」を実施します。</p>		

【環境整備事業】

事業名	実施場所	
Artpoint Meeting	都内各所	
<p>「まち」をフィールドに、人々の営みに寄り添い、アートを紹介して問いを提示するアートプロジェクトを紐解き、最新のテーマを追求するトークイベント。アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぎます。</p>		
Tokyo Art Research Lab (TARL)	都内各所	
<p>アートプロジェクトを実践する人々にひらかれ、共に作り上げる学びのプログラムです。現場の課題に応じたプログラムやコンテンツの開発、ウェブサイトなどプラットフォームの運営などを通じて、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指しています。</p>		
事業名	実施場所	開催時期
東京都・区市町村連携事業	都内3か所程度	未定
<p>地元自治体と連携し、地域のニーズや課題に即した文化事業を住民に身近な場所で展開することで、芸術文化に気軽に触れられる機会の創出や、自治体のさまざまな場面で芸術文化が活用されていることを目指します。</p>		

4 ネットワークの形成

芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、さまざまな共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力向上のきっかけづくりを行います。

事業名	実施場所	開催時期
アーツカウンシル・フォーラム	都内	未定
<p>芸術文化分野において、今日のかつ重要なテーマを取り上げるフォーラムを開催。国内外のアーツカウンシル、芸術文化交流施設・機関、アーティストや研究者等のディスカッションを通じて、国際都市にふさわしい芸術文化活動の発信や議論の場となることを目指します。</p>		